

表題： 寛骨臼を含む骨盤腫瘍に対する患肢温存治療の機能予後と QOL:JMOG 多機関共同研究

1. 研究の対象

対象となる方： 2006 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日の間に日本骨軟部肉腫治療研究会 (Japanese Musculoskeletal Oncology Group; JMOG) 参加施設 (栃木県立がんセンターも参加施設です) で寛骨臼を含む骨盤腫瘍の治療を受けられた方を対象とします。

2. 研究目的・方法

目的： この研究では、日本における寛骨臼を含む骨盤腫瘍に対する手術治療および粒子線治療の実態と、治療後の機能を含む治療成績を明らかにすることを目的とします。手術法や粒子線治療の治療内容を含め、どのような因子が治療後の機能や日常生活レベルに関与するかを検討し、今後の治療成績の向上を目指したいと思います。

研究期間： 研究実施機関の長の許可日から西暦 2026 年 12 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ☒ カルテ情報 (氏名、住所、電話番号など個人を特定する情報は除く)
☒ 画像 ☒ 検査結果 ☐ 血液 ☐ 尿・便 ☐ 腫瘍組織
☐ その他 (詳細：***)

4. 外部への試料・情報の提供

- ☒ あり (提供先：岡山大学病院整形外科)
☐ なし

5. 外部への試料情報の取扱い

提供方法：☒ 配送 ☒ インターネットを介して ☐ その他 (詳細：***)

保管場所：岡山大学病院整形外科

保管責任者：藤原 智洋

保管期間：研究の中止又は研究終了後 10 年が経過した日までの間施設可能な場所で保存し、その後は個人情報に十分注意して廃棄します。

当センターにおける管理責任者：栃木県立がんセンター 理事長 尾澤 巖

対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

6. 研究組織

栃木県立がんセンター

骨軟部腫瘍・整形外科

菊田 一貴

栃木県立がんセンター

骨軟部腫瘍・整形外科

村山 雄大

7. 利益相反

本研究の実施にあたり開示すべき利益相反関係にある組織・団体等はありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さん又は患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、お申し出いただいた時に、既に研究結果が論文などで公表されていた場合等は、対応できないことがあります。

※照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

地方独立行政法人栃木県立がんセンター

〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南 4-9-13

電話：028-658-5151 FAX：028-658-5297

研究責任者所属部署：骨軟部腫瘍・整形外科

研究責任者氏名：菊田 一貴